

加茂市



議会だより

第221号

令和5年4月28日

編集発行 加茂市議会
〒959-1392
新潟県加茂市幸町2丁目3番5号
TEL 0256-52-0080 (代表)
FAX 0256-53-4684 (直通)
ホームページ
<https://www.city.kamo.niigata.jp/>
E-mail
gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

市議会ホームページ

加茂市議会



—令和5年1月臨時会・3月定例会—

新型コロナウイルス・学校問題について問う 中野元栄議員
6期 24年



農業政策について問う 山田義栄議員
6期 24年



決議文を読み上げる 樋口浩二議員
9期 36年



除雪・加茂病院について問う 中沢真佐子議員
1期 4年



都市の魅力創造について問う 浅野一明議員
3期 12年



勇退される議員の皆様、お疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

議会だよりを聞いてみませんか。

加茂ともしびの会 音声訳部では、目の不自由な方や見えにくい方に、議会だよりをCDに録音してお配りしています。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

- 主
な
内
容
- 令和5年度予算決まる……(2)
 - 委員会の審査から……(5)
 - 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める……(5)
 - 意見書を提出
 - 7人が一般質問に登壇……(6)
 - 議案等審議結果、議員賛否の状況……(10)

誌面や加茂市議会へのご意見・ご要望がありましたら 加茂市議会事務局 ☎52-0080 (内線511)まで

令和5年度予算決まる

予算総額 一般会計4.5%減 205億円

3月

- 2・3・7日 本会議
- 8日 連合審査会・全員協議会
- 9・10日 産業建設常任委員会
- 13・14日 社会厚生常任委員会
- 15・16日 総務文教常任委員会
- 20日 本会議

定例会日程

予算議会ともいわれる3月定例会市議会では、総額205億円となる令和5年度一般会計・特別会計予算と水道事業会計予算をはじめ、条例の制定、改正及び廃止など市長提出議案28件を慎重に審議の結果、全て、承認、原案可決、同意しました。

また、議員提出の条例の制定1件、条例の一部改正1件及び意見書1件を原案可決し、意見書は、関係機関へ提出しました。

藤田市長は施政方針演説で、「①未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ育つまち②ともに支えあい、だれもが安心して健やかに暮らせるまち③安全・安心で環境にやさしいまち④学び、集い、ふれあって、自分らしく活動できるまち⑤人が集い、賑わいと活力があふれ、稼ぐ力と雇用を生み出すまち⑥社会の変化に対応し、市民に寄り添い、未来への責任を担うまち」にするための具体的施策を説明し、「加茂市は、豊かな環境資源、産業を支える技術と伝統、そして、優れたアイデアと加茂市への熱い想いを持った『人』という多くの宝に恵まれています。令和5年度の予算編成でお示しした重点実施事項に沿った各分野の事業を着実に推進することで、それぞれの分野で加茂市らしさを際立たせ、さらに新しい加茂市の可能性を育てていきます。」と述べました。

一般会計と6特別会計を合わせた予算の総額は、205億1389万円で、前年度より3.6%の減となります。

市長の施政方針演説の動画はこちらから



市議会ホームページ

議員提出の議案

定例会最終日の本会議で、条例の制定及び一部改正が議員提出され、全会一致で可決しました。

市議会の個人情報保護に関する条例の制定は、令和5年4月1日に施行される新個人情報保護法について、地方公共団体の議会が国会や裁判所の法による個人情報の取扱いに係る規律の対象となっていないこととの整合性を図るため、地方公共団体の機関から除外されることから、加茂市議会で制定し、共通のルールに沿った自律的な措置を講じるためのものです。

市議会委員会条例の一部改正は、組織改編による課条例の一部改正が行われたことにより、その改正内容に合わせて市議会委員会条例の一部を改正するものと、令和5年5月1日以降の市議会の常任委員会の構成を現在の3常任委員会から2常任委員会に、その常任委員会の所属、名称、委員会定数及び所管を変更するもので、変更後は、総務文教常任委員会と産業民生常任委員会の2常任委員会とするものです。

令和5年度 各会計予算を可決

一般会計

6号議案 予算規模は122億8900万円で、前年度当初予算に比較して、4.5%減です。歳出では、民生費が38億1902万5000円で全体の31.1%を占め一番多くなっています。歳入では、市税が26億5483万円で全体の21.6%、地方交付税及び臨時財政対策債の合計が43億9300万円で全体の35.7%などとなっています。(増減率は前年度との比較。以下同じ。)

令和5年度		会計別予算額と増減率	
区分	予算額(千円)	増減率(%)	
一般会計	12,289,000	▲4.5	
特別会計	国民健康保険	2,644,577	0.0
	後期高齢者医療	356,898	2.0
	宅地造成事業	147,332	0.0
	下水道事業	1,852,137	▲4.7
	介護保険	3,219,646	▲3.3
	在宅介護サービス事業	4,302	▲7.2
合計	20,513,892	▲3.6	
水道事業会計	696,653	▲0.4	

国民健康保険
特別会計

7号議案 算総額は、26億4457万7000円で、前年度とほぼ同額です。歳出の内容は、保険給付費19億3380万5000円などです。

後期高齢者
医療特別会計

8号議案 算総額は、3億5689万8000円で、2・0%増です。歳出の内容は、後期高齢者医療広域連合納付金3億4275万円などです。

宅地造成事業
特別会計

9号議案 算総額は、1億4733万2000円で、前年度と同額です。歳出の内容は、宅地造成工事費7000万円などです。

下水道事業
特別会計

10号議案 算総額は、18億5213万7000円で、4・7%減です。歳出の内容は、国庫補助事業3億300万円、単独事業3500万円などです。

介護保険
特別会計

11号議案 算総額は、32億1964万6000円で、3・3%減です。歳出の内容は、保険給付費30億4668万円などです。

在宅介護サービス事業特別会計

12号議案 算総額は、430万2000円で、7・2%減です。歳出の内容は、短期入所事業費420万円などです。

水道事業会計

13号議案 収益的収支は、971万3000円の当期純利益を見込んでいます。資本的収支は、8866万3000円の不足額が生じますが、損益勘定留保資金などにより補てんするものです。

情報公開・個人情報保護
審査会条例などを可決

令和5年度の各会計当初予算を除く市長提出議案の主な内容は、次のとおりです。

条例制定

16号議案 個人情報保護審査会条例は、個人情報保護法の適正に伴い、個人情報保護制度の適正な取扱いを確保するために自治体が設置できる個人情報保護審査会に関する条例を新規制定するとともに、制度の関連性や運営の効率性を鑑み、既存の情報公開審査会と組織を一本化させるため所定

の改正を行うものです。

17号議案

職員の自己啓発等休業に関する条例は、職員の人材育成と意欲増進を目的として、地方公務員法の規定に基づき、職員の自己啓発等休業に関し必要な事項を定めるものです。

18号議案

環境基本条例は、環境基本法の規定に基づき、環境の保全について、基本理念を定め、市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保に寄与するため、制定するものです。

19号議案

企業版ふるさと加茂応援寄附金基金条例は、いわゆる企業版ふるさと納税について、企業版ふるさと加茂応援寄附金基金を設置し、地域再生法に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業の財源として適切な運用をすることについて定めるものです。

条例改正

20号議案 課条例は、高齢者に関する業務分掌を令和5年度から再編することに伴い、加茂市介護・看護支援センターを長寿あんしん課に名称を変更するため、関係する条例の改正を行うものです。

21号議案

非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例は、農業委員の役職の報酬額を、令和5年7月20日の委員の改選に合わせ、他市町村と比較し適正な水準の額に改めるため、改正するものです。

22号議案

国民健康保険税条例は、課税額のうち資産割額を廃止し、さらに均等割額及び平等割額の見直しを行うため、所要の改正を行うものです。



3月定例会本会議 (3月2日)

23号議案 体育施設条例は、令和5年4月1日から子供プールを廃止するため、改正するものです。

24号議案 加茂七谷温泉美人の湯条例は、「美人の湯」の利用における入館料について、その割引を平日の午後5時を超えて入館する場合に限るほか、タオルセットを別料金とすること、入浴せずに2時間以上滞在する者を入館の場合と同様の取扱いとすることを目的として、改正を行うものです。

25号議案 国民健康保険条例は、健康保険法施行令の改正に伴い出産育児一時金の支給額を40万8000円から48万8000円に引き上げるため改正を行うものです。

条例廃止 **26号議案** 中小企業振興資金融資審査会条例は、これまで実施してきた中小企業振興資金融資について、長年利用実績がなく、制度の整理・統廃合を進めるため令和4年度末で廃止することに伴い、条例を廃止するものです。

27号議案 中小企業特別小口資金融資条例は、国のセーフティネット制度が充実してきたため、当該融資制度を令和4年度末で廃止し、今後、事業者支援の方向性を創業、成長企業への支援に移す

ため、条例を廃止するものです。

補正予算 **14号議案** 一般会計(第17号)は、総額2億6172万6000円の増額で、財政調整基金積立金2億2350万2000円などを増額し、ふるさと加茂応援寄附金推進事業費4770万5000円などを減額するものです。

32号議案 一般会計(第18号)は、ご寄附いただいた企業版ふるさと加茂応援寄附金1000万円を基金に積み立てるものです。この結果、予算の総額は155億1621万8000円となりました。

15号議案 下水道事業特別会計(第4号)は、総額28万円の増額で、補助事業100万円を増額し、総務費72万円を減額するものです。この結果、予算の総額は19億4825万円となりました。

施設の相互利用 **28号議案** 三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合の公の施設の相互利用に関する協定の一部変更は、同協定について、新たに弥彦村図書館を設置することに伴い、協定の一部を変更するもので、地方自治法の規定により、議会議決するものです。

変更契約の締結 **29号議案** 浄化センター建設工事委託に関する協定の変更契約の締結は、入札不調等によりその調整に不測の期間を要したため、工事期間延伸及び契約金額増額の変更契約を締結するものです。

権利の放棄 **30号議案** 水道事業会計における水道料金の権利の放棄は、転居後に所在不明になったことにより回収が困難であるため、地方自治法の規定により、議会議決するものです。

専決処分 **5号議案** 一般会計補正予算(第16号)は、総額1401万9000円の増額で、道路除雪費3000万円などを増額し、財政調整基金積立金3326万9000円を減額するものです。

人事 **31号議案** 定例会最終日の本会議で、欠員が生じた固定資産評価審査委員会委員に、坂上通男氏の選任について同意しました。

大学生等保護者生活支援金給付事業費ほか **1号議案** 一般会計補正予算(第14号)の専決処分は、村上市で発生した高病原性鳥インフルエンザ対応への職員派遣に係る時間外勤務手当248万円を増額し、同額財政調整基金積立金を減額して措置するものです。

2号議案 一般会計補正予算(第15号)は、総額271万6000円の増額で、大学生等保護者生活支援金給付事業費3235万7000円などを増額し、原油価格等高騰対策事業費4693万6000円などを減額するものです。この結果、予算の総額は152億3047万3000円となりました。

3号議案 水道事業会計補正予算(第5号)は、収益的収支について、収入で補助金90万円を増額し、支出で営業費用55万円を増額するものです。
4号議案 変更契約の締結は、文化会館大ホール特定天井改修工事について工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要が生じたため、請負契約の変更契約をするものです。

1月臨時会
1月23日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案4件を承認、原案可決

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願は、3月9日から16日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、全て原案可決、採択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

付託議案13件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全て全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

付託議案9件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全て全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、「物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願」は、紹介議員の説明の後、質疑、

次のページは一般質問



農業振興の現状



農業政策



高齢者名簿の復活を



藤田市政4年間の課題



審査中の社会厚生常任委員会 (3月13日)

討論がなされ、起立採決の結果、採択すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

付託議案7件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全て全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

物価上昇に見合う老齡基礎年金等の改善を採択

3月定例会市議会で受理した請願は1件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

☆意見書提出を求める請願

・物価上昇に見合う老齡基礎年金等の改善を求める請願（全日本年金者組合新潟県本部加茂・田上支部長）



請願第1号は起立採決の結果、賛成多数で採択 (3月20日)

意見書を賛成多数で可決

定例会最終日の本会議において、上記請願に関する議員提出による意見書を賛成多数で可決し、関係機関へ提出しました。

その意見書の要旨は次のとおりです。

◎物価上昇に見合う老齡基礎年金等の改善を求める意見書

1. 若者も高齢者も安心して暮らせるように、物価上昇に見合う基礎年金等の支給額の改善を行い、地域経済の循環に貢献できる支給額にすること。

議会に配付した陳情

・日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情（コドソラ代表）

・庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情（新潟県民と共に住みよい町づくりを実現する会代表）



「農業振興の現状」と「ごみ問題の広報体制」

大志の会 森 山 一 理 議員



問

(1) ① 農林業全体を取り巻く状況は大変厳しく、加茂市でも経営耕作面積、農家数、農家人口とも緩やかに減少している。グリーンツーリズムのような地域おこしと重なる農業振興の道もあると思うが、農業施策はあるのか。② 新規就農者への支援策の内容と拡充の方向性、農業団体以外の支援の枠組みは。

(2) ① 加茂市および田上町におけるごみ処理の現状が、残念ながら市民の皆様には共有されていない。ごみ問題全般の広報体制について、加茂市独自と田上町も含んだ見通しについて伺う。② 民間企業が行っているペットボトルや古紙、アルミ缶回収の現状を伺う。

答 (1) ① 加茂市では、平成8年度から継続している農機具補助に加え、地域における話合いによ

り将来の農地利用の在り方などを取り決める「人・農地プラン」の作成、農地中間管理事業の活用により、農業者の経営安定や集積・

集約化の推進を図ってきた。グリーンツーリズムについては、「加茂農泊推進協議会」が農園体験などの活動を行っている。② 後継者不足等により耕作できなくなった農地の受け皿となる組織等の育成や、米価が下落している中で米農家の所得が少しでも上がるよう加茂産米のブランド化、大規模農家が効率よく作業ができるようスマート農業の推進、新規参入者を含めた新規就農者の掘り起こしなどについて検討し、加茂市としての農業ビジョンを令和5年度中に定めた。① 加茂市の環境施策について共に考え、取組を着実に進めるために「加茂市環境会議」の設置を検討している。環境会議での取組を田上町にも情報発信したいと考えている。② 今年度に入り、回収量が大幅に増加し、売却益が見込まれることから体制を見直した。令和5年度からは、回収したペットボトルは売却し、売却収入として市が受け取る。

答 (1) 「地域計画」については、令和6年度末までに策定することが盛り込まれた改正農業経営基盤強化促進法が令和5年4月1日に施行される。加茂市では、加茂地区、下条地区、七谷地区、須

3月定例会 一般質問 演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は6月上旬発行予定の会議録をご覧ください。スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧いただけます。

農業政策について

政友クラブ 山田 義 栄 議員



問

令和3年10月に策定された加茂市

総合計画。基本計画の中の、農林水産業の振興で、農林水産業が持続可能な産業として確立するまちは基本方針とし、現状と課題が示されている。(1) 米以外の高収益作物の作付も必要。高付加価値作物関係の新たな生産組織等の立ち上げと支援をお願いしたい。(2) 農機具補助について、全国に先駆け実施したが、現在の補助率と金額は低い。農業関係団体と協議して、過剰投資防止のために農業委員会

の機械作業料金で算定し、導入機械の作業面積による算定能力内の補助等を考えてはいかがか。(3) 施設園芸関連で、ビニールハウスの新設も検討いただきたい。

答

(1) 「地域計画」については、令和6年度末までに策定することが盛り込まれた改正農業経営基盤強化促進法が令和5年4月1日に施行される。加茂市では、加茂地区、下条地区、七谷地区、須

田地区の4地区での策定を予定し、下条地区については、人・農地プランが策定済で、先行して取り組む予定。ほ場整備を含め、高収益作物関係の新たな生産組織の立ち上げについて、できる限り支援したい。(2) 高齢化や後継者不足による農業者の減少、米価の下落、農業機械や資材の高騰など、農業を取り巻く情勢は、より厳しい方向へと変化している。農業生産法人を含む認定農業者や認定新規就農者など、農業者への支援を厚くする、導入機械の能力算定により適正能力かどうかを判別するなど、市の補助金は最大限有効に活用されるべきと考える。(3) ビニールハウスについては、農林県単の園芸生産促進事業において補助制

度があるので活用していただきたい。加茂市の農業支援については、関係機関と協議し、耕作放棄地の発生させないためにも農地の集積、集約を進め、農業の担い手への支援に重点をシフトしていく方向で検討し、農業ビジョンを令和5年度中に定め、方向性を示す。



敬老の高齢者名簿の復活を

れいわの風 大橋 一久 議員



問 (1) 敬老の高齢者名簿。詐欺等の防止。

個人情報保護等の観点から「高齢者名簿」の作成が中止となり、多くの高齢者から復活の声がある。①加茂市は、どのような特殊詐欺や悪質商法等の対策を行っているか。②高齢者名簿の復活を求める。③水源地の土砂撤去と活用整備について。④有効貯水容量は。渇水時、何日分の水道水を賄えるのか。⑤水源地の姿は美しく、多くの方を魅了する。山側を歩きやすく、また、冬も除雪して行けるようにしてはどうか。⑥少子高齢化、非婚・未婚、地縁血縁関係の希薄化など、身寄りなしの問題が顕著である。支援、ガイドライン作成、連絡協議会設置に対する見解を伺う。

答

(1) ①加茂市と加茂警察署では、高齢者のいる家庭に還付金詐欺電話等の発生に対する注意喚起をしている。広報かもで消費生活情報を提供し、これまで130号を数える。高齢者の方をはじめ、市民の皆様が特殊詐欺や悪質商法等の被害に遭わないよう、有効な情報を提供している。②高齢者名簿の配布は詐欺被害の一因になりやすく、特殊詐欺の手法が巧妙化している現在の社会において、名簿の復活は考えていない。

(2) ①最大貯水量26万m³、現在の貯水量は56・60%。概ね20日から25日分の水が確保できる見込み。②山側の道路はシルバー人材センターに委託し、草刈り作業を実施している。県が管理する道路で、冬期間は生活用の道路として利用されないことから、除雪区間の延長は難しいということだが、地域の声として届けていきたい。③アドバンス・ケア・プランニングについて、加茂・田上在宅医療介護推進協議会で、高齢者が人生の最期を迎えるにあたり自身の望む医療や介護ケアに関して意見交換をし、課題を整理している。弁護士と市の関係課と各事業所のケアマネージャー等が集い、連絡協議会の構築に向けた勉強会を始めた。

(3) 令和5年度以降どのように整備を行うのが良いのか、具体的な設置箇所の選定、設置主体などを現在検討中。④旧法務局を含む施設の利用者の属性情報や類似施設間の併用状況など、客観的なデータにもとづき需給状況を明らかにし、長期にわたるアクションプランを策定する。⑤ツーポールの交流については、経済的又は文化的なものを考えている。

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は6月上旬発行予定の会議録をご覧ください。スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます。

3月定例会 一般質問



藤田市政4年間で積み残した課題は

Y02781 安武 秀敏 議員



(1) 防犯カメラの設置について、12月定例会の質問後に検討はあったか。②旧法務局庁舎の集会所としての活用について。③国際交流について。中国のツーポールの交流はどうか。④男女共同参画について、計画書の説明がないようにだがいかがか。⑤補聴器購入費に助成はあるが、もっとPRを。難聴者やろう者向けのイベントはいかがか。⑥JR加茂駅のバリアフリーについて。⑦敬老会や金婚を祝う会がなくなった。米寿の祝金を増額してはどうか。

答

(1) 令和5年度以降どのように整備を行うのが良いのか、具体的な設置箇所の選定、設置主体などを現在検討中。②旧法務局を含む施設の利用者の属性情報や類似施設間の併用状況など、客観的なデータにもとづき需給状況を明らかにし、長期にわたるアクションプランを策定する。③ツーポールの交流については、経済的又は文化的なものを考えている。

(2) 令和5年度以降どのように整備を行うのが良いのか、具体的な設置箇所の選定、設置主体などを現在検討中。②旧法務局を含む施設の利用者の属性情報や類似施設間の併用状況など、客観的なデータにもとづき需給状況を明らかにし、長期にわたるアクションプランを策定する。③ツーポールの交流については、経済的又は文化的なものを考えている。

次のページの一一般質問は



加茂病院



空き家バンク



障がい者福祉

加茂病院の夜間・休日の救急対応を

日本共産党 中 沢 真佐子 議員



問

(1) ① 県央基幹病院開院後も患者・家族の経済的負担軽減を図る観点から夜間、休日にも急患搬送を可能にすることを求める。② 病院再編成後の加茂病院の外来機能は既存の12科の継続維持が可能なのか。③ ① 柏崎刈羽原子力発電所の不祥事への見解は。② 加茂市は脱原発宣言をして再生可能エネルギーを目指すべきではないか。

質の高い医療の提供が困難となるおそれがある。県央基幹病院と地域密着型病院が適切な役割分担のもとで、圏域内の救急医療をしっかりと受け止める体制整備を進めることが重要。② 外来については、現状12科の診療科目を基本に、地域に必要な外来機能を維持していくことは、県央地域の医師会長、民間、公的、公立病院長や市町村の担当課長などで構成する県央地域医療構想調整会議で合意されている。③ ① 不適切事案が判明した場合、速やかに東京電力から県内自治体に向けてFAXにより情報が提供される。トラブルが起きないように事前に対応しておくことは当然で、これからも対策を続けるべき。今後も、適切な対策を望む。② 脱原発宣言を行っている自治体は、全国でも、東日本大震災での原発事故被害の当事者である南相馬市のほかは、ほとんど見受けられない。宣言の必要性がある。また、再生可能エネルギーについては、国の補助金を活用し、「地球温暖化対策実行計画」策定のための調査事業に着手する。

答

(1) 県立加茂病院については、加茂市の責任のもとで答えられるものではないので、県の見解を間接的に伝えることをご承知おきいただきたい。① 加茂病院を含む地域密着型病院が休日、夜間も含めた二次救急を担うことは、医師が疲弊し、結果として救急患者を断らざるを得ない状況を招くなど、圏域全体における持続可能で

質の高い医療の提供が困難となるおそれがある。県央基幹病院と地域密着型病院が適切な役割分担のもとで、圏域内の救急医療をしっかりと受け止める体制整備を進めることが重要。② 外来については、現状12科の診療科目を基本に、地域に必要な外来機能を維持していくことは、県央地域の医師会長、民間、公的、公立病院長や市町村の担当課長などで構成する県央地域医療構想調整会議で合意されている。③ ① 不適切事案が判明した場合、速やかに東京電力から県内自治体に向けてFAXにより情報が提供される。トラブルが起きないように事前に対応しておくことは当然で、これからも対策を続けるべき。今後も、適切な対策を望む。② 脱原発宣言を行っている自治体は、全国でも、東日本大震災での原発事故被害の当事者である南相馬市のほかは、ほとんど見受けられない。宣言の必要性がある。また、再生可能エネルギーについては、国の補助金を活用し、「地球温暖化対策実行計画」策定のための調査事業に着手する。

3月定例会 一般質問

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は6月上旬発行予定の会議録をご覧ください。

スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧いただけます。

空き家バンクの改善を

公明党 三 沢 嘉 男 議員



問

(1) 令和3年12月定例会で空き家バンクの周知にかかわることや、情報の少なさを指摘した。1年以上経過した現在も、現状は全く変わっていない。移住・定住の促進に取り組んでいるには貧弱過ぎる。① 検討している内容、進捗状況は。② 家財等処分費用や改修費等の一部を補助する制度が必要と考えるがいかがか。③ 令和5年度当初予算中の子育て支援の新規事業の取組について伺う。④ 複合施設の建設とあるが、地域子育て支援センターを統合させるなどの構想はあるのか。⑤ 産婦健康診査助成について、似たような事業もあるが、どのくらいの期間有効なのか伺う。

シを同封する、相続の申請時に窓口へおいでいただいた時にお伝えするなど時機を見て、空き家の管理やバンクへの登録をお願いしたいと思っっている。② 先進事例を研究し、登録料の補助以外にも実施できる制度を導入したい。③ ① 子育て拠点交流施設整備構想については、母子センターを中心として、子どもや地域の交流施設にできればと考えているが、老朽化が著しく、多額の修繕費用負担が予想される。同様に、老朽化した公共施設が市内に多くあるので、人口動態やニーズに合わせて複合的に整備することで、将来負担を軽減していく必要がある。子育ての孤立を防ぎ、不安感を軽減する目的からも多様な大人・子どもが関わるができるような施設にする必要がある。② 産婦健康診査は、出産後、4週間後の時期に医療機関や助産所で行われる健康診査。産後ケア事業、妊産婦医療費助成など、それぞれ目的に合った活用で、母子ともに心と体を健やかに、お過ごしいただきたい。

答

(1) ① 令和4年8月から10月にかけて、市役所の全課にわたる職員で、市内全域の空き家調査を行った。その結果、666件の空き家が確認された。これを受け、固定資産税の納付通知にチラ



障がい者福祉について

れいわの風 森 友 和 議員



問

(1) ①加茂市障害者自立支援協議会の運営について。現在までの協議会の開催状況と協議されている内容について問う。②平成

28年4月1日より、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、障害者差別解消法が施行されたことを受け、一部の自治体では、これにもとづく条例を制定・施行している。加茂市における検討状況はいかがか。(2) ①令和5年度予算の新規事業である校務支援システムの導入は、どのような経緯で導入に至ったのか。②校務支援システムの導入により、特にどのような効果を、どの程度見込んでいるのか伺う。

令和2年度1回、令和3年度1回、令和4年度は2回と、今まで4回

「加茂市自立支援協議会」。開催状況は、

令和5年2月20日の協議会では、相談支援事業部会開催の結果報告と加茂市障がい者就労施設等からの物品調達方針、障がい者理由とする差別の解消の推進に関する条例の令和5年度の制定準備、委員の任期及び改選等について協議した。②令和元年9月議会、手話が言語であるという認識にもとづき、手話が必要とする方とそれ以外の方が、共に生きる地域社会の実現について、市の責務並びに市民及び市内で事業を営む方の役割を明らかにすることにより、これを推進することを目的として、手話言語条例を制定した。②①現場の教職員からもシステム導入を求める声が頻繁に上がり、昨年7月に調査した。県内で導入を検討していないのは加茂市を含め3市町村という状況もあり、教職員が安心して働ける環境を整え、学校教育の質の向上を推進したいと考える。②児童生徒の学籍や成績、健康状態等を一元的に管理でき、校務の効率化を図る。保護者と学校間の連絡や情報共有を支援し、信頼関係の構築にも良い効果があると期待する。

令和5年2月20日の協議会では、相談支援事業部会開催の結果報告と加茂市障がい者就労施設等からの物品調達方針、障がい者理由とする差別の解消の推進に関する条例の令和5年度の制定準備、委員の任期及び改選等について協議した。②令和元年9月議会、手話が言語であるという認識にもとづき、手話が必要とする方とそれ以外の方が、共に生きる地域社会の実現について、市の責務並びに市民及び市内で事業を営む方の役割を明らかにすることにより、これを推進することを目的として、手話言語条例を制定した。②①現場の教職員からもシステム導入を求める声

会議録は、図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニティセンターと加茂市議会ホームページでご覧いただけます。

連合審査会

3月8日に連合審査会を開催し、各委員会に付託された議案25件について、総括質疑を行いました。



連合審査会

全員協議会

3月8日に全員協議会を開催し、議会報告第1号、令和5年度地方税制改正の概要、公共下水道整備区域及び合併浄化槽設置補助区域の見直し、メリア共用費負担、加茂市男女共同参画推進計画、加茂市子ども読書活動推進計画について説明を受け質疑を行いました。

議員意見交換会

今定例会までに行われた議員意見交換会の内容を報告いたします。

先に行われた議会運営委員会での検討を経て上程された新しい委員会の構成案について、資料を基に意見交換しました。すでに前回までの会議で3つの常任委員会を2つにする方向は全会一致で認められておりましたので、その他の委員会、具体的には予算審査と決算審査において全議員で協議する特別委員会の設置などについても意見交換し、全員の賛同を得たところです。さらに現在ある議会だより編集委員会を基礎とした、情報発信と意見聴取の場を設けるための委員会を新設したいということも協議により決定しました。新たな委員会は広報広聴特別委員会となります。これにより今後は議会だよりに限らず幅広い活動を通じて市民との懇談の場や現存する課題の共有などを組織的に展開できることと思っております。現在の3常任委員会での議会は今定例会で終了、次の6月定例会からは新しい体制となります。引き続き議員意見交換会を通じて市民の代表としての議会運営を心がけてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。議長 滝沢茂秋

3日 県議定会定期総会（南魚）

（2月）

議会日誌

7日 沼市）
7日 全国議長会特別委員会（東京）
17日 当初予算概要説明会

（3月）

22日 議会運営委員会

8日 全員協議会

（4月）

6日 北信越議長会定期総会（富山市）

1月臨時会 議案等審議結果

議案番号等	件名	結果
市長提出議案		
1	専決処分の承認（4年度一般会計補正予算第14号）	承認
2	4年度一般会計補正予算（第15号）	原案可決
3	4年度水道事業会計補正予算（第5号）	〃
4	変更契約の締結	〃

3月定例会 議案等審議結果

議員提出議案		
1	市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	原案可決
2	市議会委員会条例の一部改正	〃
3	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書	〃
市長提出議案		
5	専決処分の承認(4年度一般会計補正予算第16号)	承認
6	5年度一般会計予算	原案可決
7	5年度国民健康保険特別会計予算	〃
8	5年度後期高齢者医療特別会計予算	〃
9	5年度宅地造成事業特別会計予算	〃
10	5年度下水道事業特別会計予算	〃
11	5年度介護保険特別会計予算	〃
12	5年度在宅介護サービス事業特別会計予算	〃
13	5年度水道事業会計予算	〃
14	4年度一般会計補正予算(第17号)	〃
15	4年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)	〃
16	情報公開・個人情報保護審査会条例の制定	〃
17	職員の自己啓発等休業に関する条例の制定	〃
18	環境基本条例の制定	〃
19	企業版ふるさと加茂応援寄附金基金条例の制定	〃
20	課条例の一部改正	〃
21	非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	〃
22	国民健康保険税条例の一部改正	〃
23	体育施設条例の一部改正	〃
24	加茂七谷温泉美人の湯条例の一部改正	〃
25	国民健康保険条例の一部改正	〃
26	中小企業振興資金融資審査会条例の廃止	〃
27	中小企業特別小口資金融資条例の廃止	〃
28	三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合の公の施設の相互利用に関する協定の一部変更	〃
29	浄化センター建設工事委託に関する協定の変更契約の締結	〃
30	権利の放棄	〃
31	固定資産評価審査委員会委員の選任(坂上通男氏)	同意
32	4年度一般会計補正予算(第18号)	原案可決
審議した請願		
1	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	採択

議員賛否の状況 審議結果の賛否が分かれた議案等（上の表の網かけ部分）について、賛否を公表します。

議案番号等	採決の種類	結果	賛成	反対	棄権	政友クラブ					大志の会			れいわの風			Y02781	公明党	共産党
						白川克広	山田義榮	中野元栄	樋口博務	樋口浩二	佐藤俊夫	浅野一明	滝沢茂秋	森山一理	森友和	大橋一久	関龍雄	安武秀敏	三沢嘉勇
3	意見書	起立可決	11	3	0	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	条例	起立可決	13	1	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
1	請願	起立採択	10	4	0	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会

3	意見書	起立	可決	11	3	0	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	条例	起立	可決	13	1	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
1	請願	起立	採択	10	4	0	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対、滝沢茂秋議長は採決に加わらない。 ※採決の種類：起立は起立採決。

次の定例会は 6月15日(木)から開催の予定です。